

## ⑤8 ふくしま復興再生道路 国道399号十文字工区 道路改良事業

受賞機関 福島県 いわき建設事務所  
国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所

**キーワード** ふくしま復興再生道路、直轄権限代行業業、BIM/CIM、既往技術の創意工夫

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

原発避難解除等区域の復興を担う幹線道路を、国と福島県の役割分担により整備した道路改良事業。BIM/CIMによる設計の可視化や無人航空機による土量管理といった新技術の積極導入や、既往技術の創意工夫を重ねるなど施工の合理化・効率化を推進し、事業を完成させた点が評価された。

### 1. はじめに

国道399号は、福島県いわき市を起点とし、双葉郡、伊達市及び福島市を經由し、山形県南陽市へ至る阿武隈地域を縦貫する重要な幹線道路であるが、事業区間の福島県いわき市小川町地内の現道は、幅員が狭く急カーブ・急勾配が連続し、また、連続雨量120mmの大雨時には通行止めを行う異常気象時通行規制区間となっており、安全で円滑な交通に支障を来している。また、東日本大震災からの復旧・復興や避難解除区域等の住民の帰還を促進し、地域の持続可能な発展を促す福島県復興計画における「ふくしま復興再生道路」に位置づけられた延長6.2kmのバイパスを整備した事業である。平成23年度から事業着手し、令和4年9月17日に開通した。

### 2. 事業の概要

事業区間の延長6.2kmのバイパス事業のうち福島県では2つの橋梁を含む道路改良工を施工し、低土被り対策、突発湧水対策等の技術的に難易度の高い長大トンネル区間については、国の直轄権限代行業業として、国土交通省が施工することで事業の加速化を図った。また、BIM/CIM、ICT（UAV測量）等の新しい建設技術の導入や、追尾型トータルステーションによる施工管理、ス



国道399号十文字工区 開通式の様子（令和4年9月17日）

ライドセントル（移動式型枠）の大型化など、既往技術の創意工夫を図りながら工期を短縮し完成させた。

### 3. 事業の成果

国道399号は、東日本大震災と原発事故という未曾有の複合災害に見舞われた際に、沿岸部の道路に甚大な被害が発生する中、双葉郡川内村と避難先のいわき地域をつないだ重要な道路であり、また、復興が進むうで地域の方々が増え、安心して古里で暮らすためには必要不可欠な道路である。本事業による成果としては、隘路区間が解消されたことにより、緊急搬送の時間短縮による地域医療の環境改善、物流ルートとして利用が可能、通勤・通学エリアがいわき地域までの拡大、災害時の緊急避難路としての安全性の確保など、特に双葉郡の地域活性化に大きく期待されている。



国道399号十文字工区 パレードの様子（令和4年9月17日）

### 4. おわりに

開通後の道路利用者からは、「救急搬送を安定して行えるようになった」、「安全な道路で地域交流が増え便利になった」、「移動時間が短縮され助かっている」、「観光施設の利用者が大幅に増加した」など多くの喜びの声をいただいている。

本事業の完成により、安全で安心な通行が可能となり、いわき地域と川内村をはじめとする双葉地域との交流や物流の活性化がより一層図られることとなった。また、避難解除区域等の復興・再生、住民の帰還促進、地域の持続可能な発展を力強く後押ししてきた。

賛助会員 (株)安藤・間、福浜大一建設(株)、川田建設(株)、大林道路(株)、日本道路(株)、(株)東コンサルタント、(株)橋梁コンサルタント、堀江工業(株)、(株)加地和組、(株)荻野組